

# 2021 年度事業報告書

(2021 年 4 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日)

国際交流事業		
1	国際講演会	なし
2	IBBY 支部としての活動	ア) IBBY 世界大会 (9 月ロシア) イ) 国際子どもの本の日キャンペーン (3 月) ウ) 日中韓共同プロジェクト (12 月) エ) 年会費の納入 オ) IBBY と日本のスポンサーとの橋渡し カ) IBBY チルドレン・イン・クライシスへの協力
3	国際賞への推薦事業	ア) 国際アンデルセン賞 イ) IBBY オナーリスト (9 月) ウ) IBBY バリアフリー図書 (3 月) エ) IBBY サイレント・ブックス オ) プラチスラバ世界絵本原画展 (4 月) カ) アストリッド・リンドグレーン記念文学賞 (5 月)
4	派遣・出展事業	なし
調査研究・情報提供事業		
1	図書展	ア) 世界の子どもの本展 (4 会場) イ) 世界のバリアフリー児童図書展 (1 会場)
2	ブックリストの作成	ア) 「IBBY がすすめる世界の児童書 2020」(9 月) イ) 「世界のバリアフリー児童図書」(3 月) ウ) 「おすすめ! 日本の子どもの本 2021」(6 月) エ) 「おすすめ! 日本の子どもの本 2022」 オ) 「おすすめ! 世界の子どもの本 2022」(1 月) カ) 「Japanese Children's Books 2020」「Japanese Children's Books 2021」
3	講座・研究会	ア) 国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座 (オンライン 4 回) イ) 新・編集者講座 (オンライン 3 回) ウ) 子どもの本の翻訳フォーラム (オンライン) エ) 希望プロジェクト学びの会 (オンライン) オ) ノンフィクションの子ども本を考える会 (オンライン 2 回)
4	JBBY 賞	
5	会報の発行	「Book & Bread」(年 4 回、6・9・12・3 月)
6	ウェブサイトほか	ホームページ / Facebook / Facebook 会員サロン / Twitter / Instagram / メールマガジン / YouTube チャンネル
7	協力事業ほか	ア) 子どもの読書推進会議 イ) プラチスラバ世界絵本原画展 (国内巡回展) ウ) 山田養蜂場「ミツバチの絵本コンクール」 エ) 群馬県太田市美術館・図書館 オ) 後援名義の提供 ほか
その他の事業		
1	イタリア・ポーロニャ国際絵本原画展	巡回展事務局業務 (5 会場)
2	希望プロジェクト	ア) 支援活動 (野馬追文庫 ほか) イ) 少年院ライブラリー ウ) 募金活動
3	フォーラム・子どもたちの未来のために	学習会・講演会など (オンライン 6 回)
4	出展ほか	上野の森親子ブックフェスタ (中止)
5	物販	なし
組織・その他		
1	総会・理事会	総会 1 回 (6 月) / 理事会 9 回

## ● 2021 年度カレンダー（2020 年4月～2021 年3月）

4月	10日：フォーラム・子どもたちの未来のために① 13-18日：世界のバリアフリー児童図書展（東京都・三鷹市立三鷹図書館） 16日：プラチスラバ世界絵本原画展国内選考会 17日-6月6日：プラチスラバ世界絵本原画展（栃木県・足利市立美術館） 25日：理事会① 25日：国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座① IBBY年会費の納入
5月	18日：理事会②
6月	5日：国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座② 7-18日：世界の子どもの本展（東京都・光塩女子学院） 8日：理事会③ 25日：第51回定時総会 25日：理事会④ 26日：フォーラム・子どもたちの未来のために② 30日：「おすすめ！日本の子どもの本2021」発行 30日：会報147号発行 希望プロジェクト・野馬追文庫図書寄贈
7月	10日：国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座③ 10日-8月29日：プラチスラバ世界絵本原画展（埼玉県・うらわ美術館） 14日：新・編集者講座① 17日：フォーラム・子どもたちの未来のために③ 17日-8月15日：ポローニャ国際絵本原画展（東京都・板橋区立美術館） 28日：理事会⑤ 31日：フォーラム・子どもたちの未来のために④
8月	21日-9月26日：ポローニャ国際絵本原画展（兵庫県・西宮市大谷記念美術館）
9月	1日：理事会⑥ 6日：ノンフィクションの子どもの本を考える会① 8日：IBBYオナーリスト国内選考会 10-12日：第37回IBBY世界大会（ロシア） 11日-11月7日：プラチスラバ世界絵本原画展（神奈川県・茅ヶ崎市美術館） 30日：「IBBYがすすめる世界の児童書」発行 30日：会報148号発行 希望プロジェクト・野馬追文庫図書寄贈
10月	2-31日：ポローニャ国際絵本原画展（静岡県・浜松市美術館） 28日：新・編集者講座② 29日-11月7日：世界の子どもの本展（兵庫県・赤穂市立図書館）
11月	6日-12月12日：ポローニャ国際絵本原画展（石川県・七尾美術館） 13-28日：世界の子どもの本展（群馬県・太田市美術館・図書館） 14日：フォーラム・子どもたちの未来のために⑤ 16日：理事会⑦ 20日：国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座④
12月	6日：新・編集者講座③ 11日：希望プロジェクト・学びの会① 13日：理事会⑧ 18日-1月23日：ポローニャ国際絵本原画展（群馬県・太田市美術館・図書館） 31日：会報149号発行
1月	10日：「おすすめ！世界の子どもの本2021」発行 13日：ノンフィクションの子どもの本を考える会② 22日：子どもの本の翻訳フォーラム
2月	13日：IBBYバリアフリー図書国内選考会 25日：「Japanese Children's Books 2020」「Japanese Children's Books 2021」発行 28日：理事会⑨
3月	国際子どもの本の日キャンペーン 1日：「世界のバリアフリー児童図書」発行 5-13日：子どもの本の日フェスティバル 5日：第7回IBBY賞オンライン報告会 8日-4月28日：世界の子どもの本展（東京都・出版クラブライブラリー） 21日：IBBY記者会見 26日：フォーラム・子どもたちの未来のために⑥ 31日：会報150号発行 YouTubeチャンネル配信 IBBY日中韓共同プロジェクト配信 希望プロジェクト・野馬追文庫図書寄贈

## 【国際交流事業】

### 1. 国際講演会

なし

### 2. IBBY 支部としての活動

#### ア) IBBY 世界大会（隔年）

1年延期された第37回 IBBY 世界大会がリアルとオンラインの併用で実施された。

大会テーマ	子どもの本がつなぐ大きな世界
会期	2021年9月10～12日
開催国	ロシア・モスクワ

#### ■ IBBY と世界大会・地域大会

現在 IBBY には 80 の国と地域が加盟しており、隔年で開催される子どもの本の世界大会（IBBY 世界大会）では、国際アンデルセン賞や IBBY 朝日国際児童図書普及賞の授与式のほか、総会や役員選挙などが行われる。数年前から、世界大会がない年に、地域ごとの大会も開催されるようになった。ヨーロッパ地域大会、ラテンアメリカ・カリビアン地域大会、アフリカ大会、アジア・オセアニア地域大会がある。アメリカ合衆国は、26 年前から独自に USBBY 大会を実施している。

#### イ) 国際子どもの本の日キャンペーン

「国際子どもの本の日」を記念し日本でも事業を行った。

##### (1) 世界共通ポスターとメッセージの発信

IBBY 各国支部が順番に作成するポスターとメッセージを日本語版にし、JBBY 会員のほか全国の公共図書館や関連施設に配布した。

2022 年制作担当国	カナダ
メッセージ	リチャード・ヴァン・キャンブ
ポスター	ジュリー・フレット
メッセージ翻訳	横山和江
日本語版メッセージ / ポスター	A2 サイズ、6,000 部

##### (2) 記念イベントの実施

コロナウィルスの影響により、「子どもの本の日フェスティバル」をオンラインで実施した。申込制オンラインイベントの参加者のべ 318 人。一部「子どもゆめ基金」助成活動。

3/5 (土)	第7回 JBBY 賞報告 & 記念講演会「とくべつでない、とくべつなこと。」(子どもゆめ基金助成活動)	講師：村中李衣、石川えりこ、永牟田律子 進行：さくまゆみこ
3/6 (日)	軍手人形を作って！絵本であそぼう！うたおう！おどろう！	講師：上地史人、三根政信、長野ヒデ子 進行：汐崎順子
3/12 (土)	科学あそび「空を見上げて ぼくのわたしの いまいるところ」	講師：二階堂恵理 & アシスタント（科学読物研究会・理科実験おたすけ隊）
3/12 (土)	君が読んだ本はどうやって作られてるの？本作りのひみつ、話します	講師：工藤純子、黒川裕子、長江優子、濱野京子 進行：吉野万理子

3/13 (日)	パッとひらめき、サッとえがく「アート大喜利」	講師：きのとりこ、館野鴻、田中清代、垂石真子、とよたかずひこ、はたこうしろう、降矢なな、堀川理万子 進行：広松由希子、土居安子
3/8 ～	翻訳家が訳書を紹介「おすすめ！世界の子どもの本」	JBBY YouTube チャンネル（宇野和美、大作道子、おおたけきよみ、おおつかのりこ、河野万里子、こだまともこ、相良倫子、さくまゆみこ、武富博子、中井はるの、中野怜奈、長友恵子、野坂悦子、原田勝、福本友美子、八木恭子、横山和江）
3/8 ～ 4/28	世界の子どもの本展	出版クラブビル(東京都)

#### ■ 国際子どもの本の日

IBBY は 1966 年に、アンデルセンの誕生日である 4 月 2 日を「国際子どもの本の日」と定め、各国で本を普及するイベントを奨励した。翌 67 年からは、IBBY 支部が交代に記念ポスターとメッセージを作成し、世界中に発信している。

#### ウ) 日中韓共同プロジェクト

2019 年にスタートした企画で、IBBY の日中韓支部が年に 1～2 回テーマを決めて 5 冊ずつ自国のおすすめ本を選ぶ。第 3 回のテーマは「友情」で、ウェブには 2022 年 7 月に発表予定。

<https://jbbby.org/cjkbbby-project/>

韓国の本	『どんぐりとトントン』(도토리랑 콩콩)
	『ちがってもともだち』(달라도 친구)
	『もぐらくんのなやみごと』(더지의 고민)
	『ユウォン』(유원)
中国の本	『わたしはムニ』(나는 무니)
	『妖精と二人の七歳の少女』(一个仙子和两个七岁女孩)
	『三人の友だち』(三个朋友)
	『天使の国』(天使的国)
日本の本	『ブラックちゃん 999 とレッドちゃん 666』(小黑 999 和小红 666)
	『私と一番の親友のフォレストノート』(我和最好朋友的森林手帳)
	『やもじろうとはりきち』(降矢なな作 / 佼成出版社)
	『かんけり』(石川えりこ / アリス館)
	『ランカ』(野呂きくえ作 / 松成真理子絵 / 偕成社)
	『ともだちのときちゃん』(岩瀬成子作 / 植田真絵 / フレーベル館)
『この川のむこうに君がいる』(濱野京子作 / 理論社)	
選書	さくまゆみこ、汐崎順子、土居安子、野上暁、広松由希子
原稿執筆	さくまゆみこ、土居安子、野上暁
翻訳	神谷丹路、王玉、李麗
編集	竹迫祐子、藤田隆広

## 工) IBBY 年会費の納入

年会費 7,500 スイスフラン (=889,650 円) を納めた。IBBY の会費カテゴリは、その支部の年間児童書出版点数を基準に決まる。

カテゴリー 1 (6 カ国)	中国、フランス、ドイツ、日本、イギリス、アメリカ合衆国
カテゴリー 2 (10 カ国)	オーストラリア、ベルギー、カナダ、イタリア、韓国、オランダ、スペイン、スウェーデン、スイス、アラブ首長国連邦
カテゴリー 3 (2 カ国)	デンマーク、ノルウェー
カテゴリー 4 (10 カ国)	オーストラリア、ブラジル、チェコ、フィンランド、インド、アイルランド、イスラエル、メキシコ、ポーランド、ロシア
カテゴリー 5 (8 カ国)	アルゼンチン、アイスランド、イラン、マレーシア、ニュージーランド、スロベニア、タイ、トルコ
カテゴリー 6 (11 カ国)	チリ、コロンビア、クロアチア、キプロス、エジプト、ギリシャ、ハンガリー、インドネシア、スロバキア、南アフリカ、ベネズエラ
カテゴリー 7 (10 カ国)	アゼルバイジャン、エクアドル、エストニア、ヨルダン、ラトビア、リトアニア、パキスタン、ペルー、チュニジア、ウクライナ
カテゴリー 8 (22 カ国)	アフガニスタン、アルバニア、アルメニア、ボリビア、カンボジア、コスタリカ、キューバ、エルサルバドル、ガーナ、ハイチ、レバノン、モルドバ、モンゴル、ネパール、パレスチナ、ルワンダ、スリランカ、タンザニア、ウガンダ、ウルグアイ、ザンビア、ジンバブエ

## オ) IBBY と日本のスポンサーとの連携協力

連絡や交渉の中継や、会議の段取りをした。

IBBY 朝日国際児童図書普及賞	朝日新聞社
IBBY 山田基金 (IBBY-Yamada Fund)	山田養蜂場

### ■ IBBY 朝日国際児童図書普及賞 (IBBY-Asahi Reading Promotion Award)

1986 年に東京で、アジアで初めての IBBY 世界大会が開催された際、朝日新聞社が IBBY の活動に賛同して創設した賞。図書普及や識字活動で成果をあげた団体に贈られる。

### ■ IBBY 山田基金 (IBBY-Yamada Fund)

スマトラ島沖地震 (2004 年) に対し山田養蜂場から寄せられた支援金を元に 2005 年に発足した基金。その後も支援が継続され、すべての子どもが自由に本を読める世界をめざし、年間 8 ~ 10 回の読書推進のための草の根的なワークショップの支援を行っている。

## カ) IBBY チルドレン・イン・クライシスへの協力

2020 年 8 月のベイルートでの工場大規模爆発で被災した学校の図書館再建のため、国内で寄付を募り 10 万円を集めて IBBY に送った。

## 3. 国際賞への推薦

### ア) 国際アンデルセン賞への推薦 (隔年事業)

2022 年 3 月、ポローニャブックフェアにおける IBBY 記者会見で、2022 年国際アンデルセン賞受賞者が発表された。IBBY がノミネートした画家賞候補・荒井良二氏は 6 人の最終候補まで進んだ。

### ■ 国際アンデルセン賞

1953 年に IBBY が創設した子どもの本の国際的な賞で「Little Nobel Prize (小さなノーベル賞)」と称される。3 年の準備期間を経て 1956 年に第 1 回の授与式が行われた。IBBY に加盟する支部が推薦する候補者の中から、2 年に 1 度、子どもと子どもの本に最も貢献した作家と画家の全業績を対象に贈られる。選考は、世界 11 カ国から選定された国際選考委員 (委員長含) があたる。日本からは、赤羽末吉 (1980 画家賞)、安野光雅 (1984 画家賞)、まど・みちお (1994 作家賞)、上橋菜穂子 (2014 作家賞)、角野栄子氏 (2018 年作家賞) が受賞している。

### イ) IBBY オナーリスト (隔年事業)

2022 年 IBBY オナーリスト (IBBY Honour List 2022) に、下記の 3 作品を推薦した。

文学作品部門	『徳治郎とボク』花形みつる作 / 理論社
イラストレーション作品部門	『つかまえた』田島征三作 / 偕成社
翻訳作品部門	『ケンタウロスのポロス』ピウミーニ原作 / 長野徹訳 / 岩波書店

### ▽国内選考会 (オンライン)

2021 年 9 月 8 日	選考委員：さくまゆみこ、坂口美佳子、汐崎順子、代田知子、神保和子、土居安子、野上暁、広松由希子、福本友美子
----------------	---

### ■ IBBY オナーリスト

子どもの本を通しての国際理解を提唱する IBBY (国際児童図書評議会) が、1956 年から隔年で発行している、世界的に権威のある児童書リスト。現在は、文学作品・イラストレーション作品・翻訳作品の 3 部門があり、IBBY に加盟する国と地域が、2 年に一度、ほかの国でも読んでほしいすぐれた子どもの本を選び推薦する。

### ウ) IBBY バリアフリー児童図書への推薦 (隔年事業)

2023 年 IBBY バリアフリー児童図書コレクション (2023 Outstanding Books for Young People with Disabilities) に、下記の 10 作品を推薦した。なお今期より、カテゴリーが 2 つに変更された。

■カテゴリー 1：誰もがアクセスできる本	
音にさわる—はるなつあきふゆをたのしむ「手」	広瀬浩二郎作 / 日比野尚子絵 / 偕成社
かける	はらべこめがね作 / 佼成出版社
仕事に行ってきます①クッキーづくりの仕事 洋美さんの 1 日	季刊「コトノネ」編集部 / 埼玉福祉会
どちらがおおい? かぞえるえほん	村山純子作 / 小学館
ふーってして	松田奈那子作 / KADOKAWA
まどのむこうのくだものなにあに?	荒井真紀作 / 福音館書店
りんごだんだん	小川忠博写真・文 / あすなる書房
■カテゴリー 2：障害がある子どもや人物を描いた本	
車いすで国会へ	船後靖彦・加藤悦子・堀切りエ作 / 子どもの未来社
めねぎのうえんのガ・ガ・ガーン!	多屋光孫文・絵 / 合同出版
わたしが障害者じゃなくなる日	海老原宏美著 / 旬報社

▽国内選考会（オンライン）

2022年2月13日	選考委員：さくまゆみこ、梨屋アリエ、林左和子、村中李衣、山田真 世話人：攪上久子
------------	---

■ IBBY バリアフリー児童図書

1985年、障害児向けの図書の調査研究と利用の促進を目的にノルウェーのオスロ大学特別支援研究所の中に、IBBYの障害児のため図書資料センターが設立。以来、各国支部から障害児の読書を助ける優れた児童書を集集、その中から特に際立った作品のカタログを発行してアイデアバンクとしての役割を果たしている。センターは、2002年にノルウェー・バルムのハウグ特別支援学校図書館へ、2014年にカナダのトロント市立ノースヨーク中央図書館へ移転。

工) IBBY サイレント・ブックス（隔年）

IBBY が 2021 年に推薦したサイレント・ブックスのうち、『布の絵本：三びきのこぶた』（ぐるーぶ・もこもこ制作）が、オナーブックに選ばれた。

■ IBBY サイレント・ブックス

2012年にIBBYイタリア支部が開始したプロジェクト。サイレント・ブックス（Silent Books）とは文字のない絵本のこと。アフリカや中東からの移民や難民が集まる地中海の小島ランペドゥーサに子ども図書館を造り、母語の異なる子どもたちのために、2年に1度世界中から文字なし絵本を収集する。

オ) ブラチスラバ世界絵本原画展（BIB2021）

第28回ブラチスラバ世界絵本原画展に、下記の15作家とその作品を推薦した。結果、しおたにまみこ氏の『たまごのはなし』（ブロンズ新社）が第3席の「金牌」を受賞。

あべ弘士	『うみどりの島』 偕成社
荒井真紀	『まどのむこうのくだものなにあに？』 福音館書店
荒井良二	『こどもたちはまっている』 亜紀書房
飯野和好	『かふんとみつ』 絵本塾出版 『火あやかし』 小峰書店
うえだまこと	『りすとかえるとかぜのうた』 BL 出版
きくちちき	『おひさまわらった』 JULA 出版局
しおたにまみこ	『たまごのはなし』 ブロンズ新社
スズキコージ	『チンチラカと大男』 BL 出版
田島征三	『つかまえた』 偕成社
たじまゆきひこ	『せきれい丸』 くもん出版
館野鴻	『がろあむし』 偕成社
中野真典	『ミツ』 偕成出版社
降矢なな	『どうぶつ ABC えほん』 のら書店 『ヴォドニークの水の館』 BL 出版
松本大洋	『こんとん』 偕成社
ミロコマチコ	『ドクルジン』 亜紀書房

▽国内選考会（オンライン）

2021年4月16日	選考委員：野上暁、広松由希子、松方路子、松本育子
------------	--------------------------

■ ブラチスラバ世界絵本原画展（BIB）

1967年に始まったBIBは、スロバキアの首都ブラチスラバで隔年に開催される、世界最大規模の絵本原画コンクール。ひとつの国から参加できる作家は15人までと決められているため、各国の代表が一堂に集まる。日本は、IBBYが国内選考会を行って日本からの出展作家と作品を選ぶ。

オ) アストリッド・リンドグレーン記念文学賞への推薦（毎年）

2022年アストリッド・リンドグレーン記念文学賞に、前年に引き続き田島征三氏を推薦した。

■ アストリッド・リンドグレーン記念文学賞

『長くつ下のピッピ』で知られるスウェーデンの児童文学作家アストリッド・リンドグレーンの功績を記念し、スウェーデン政府が2002年に創設した賞。世界中の子どもの本の作り手、または子どもの本の普及に貢献した人・団体を対象に贈られる。日本で推薦権を有するのは、IBBYと大阪国際児童文学振興財団、日本図書館協会、荒井良二氏（2005年受賞者）。

4. 派遣・出展事業

なし

【調査研究・情報提供事業】

1. 図書展

ア) 世界の子どもの本展

2020年IBBYオナーリストに選ばれた179冊（60の国と地域48言語）と2020年国際アンデルセン賞受賞者（作家賞：ジャクリン・ウッドソン氏、画家賞：アルベルティース氏）の作品を4会場で開催した。子どもゆめ基金助成活動として計画していた巡回講演会「世界の子どもの本はこんなに面白い！」はコロナウィルスの影響で中止とした。会員翻訳者にオナーリスト作品を紹介してもらったブックトークビデオを作成し、YouTubeチャンネルで配信した。

▽展覧会

6/7～18	東京都	光塩女子学院中等科・高等科
10/29～11/7	兵庫県	赤穂市立図書館
11/13～28	群馬県	太田市美術館・図書館
3/8～4/28	東京都	出版クラブビル・クラブライブラリー

日本のIBBYオナーリスト	『きみの存在を意識する』（梨屋アリエ作 / ポプラ社）、『よるのおと』（たむらしげる作 / 偕成社）、『青い月の石』（ドラフト原作 / 西村由美訳 / 岩波書店）
---------------	---

▽ブックトークビデオ協力者

愛甲恵子、宇野和美、王玉、大作道子、おおつかのりこ、片桐早織、木村有子、河野万里子、相良倫子、さくまゆみこ、南平かおり、野坂悦子、よこのなな、李麗、若松宣子

イ) 世界のバリアフリー児童図書展（隔年事業）

前年度事業だが、IBBYに資料を返却する前に1会場で展示した。

4/13～18	東京都	三鷹市立三鷹図書館
---------	-----	-----------

▽展示した日本の本

『モグモグぱっくん』（布の絵本 / てのひらの会）、『夏がきた』（羽尻利門作 / あすなろ書房）、『このあいだになががあった？』（佐藤藤彦＋ユーフラテス作 / 福音館書店）

## 2. ブックリストの作成

ア)「IBBYがすすめる世界の児童書：国際アンデルセン賞とIBBYオナーリスト2020」（期ずれ）

2020年IBBYオナーリストのカタログ*IBBY Honour List 2020*の日本語版を発行。179タイトル（60の国と地域48言語）と2020年国際アンデルセン賞受賞者（作家賞：ジャクリン・ウッドソン氏、画家賞：アルベルティース氏）の作品を紹介。翻訳は、会員の各言語専門家に依頼。

AB判／60ページ／4色	
発行日	2021年9月30日
翻訳協力	愛甲恵子、宇野和美、王玉、大作道子、おおつかのりこ、片桐早織、神谷丹路、木村有子、河野万里子、相良倫子、さくまゆみこ、櫻井映子、武富博子、富澤規子、南平かおり、野坂悦子、横野菜々、若松宣子、脇本美穂、李麗
編集協力	川辺剛彦
協賛	日産自動車

イ)「世界のバリアフリー児童図書：IBBYによる2021年選定図書」

2021年IBBYの障害児のための図書カタログ*2021 IBBY Selection of Outstanding Books for Young People with Disabilities*の日本語版を発行。3カテゴリー40タイトルを紹介。翻訳は、会員の各言語専門家に依頼。

AB判／32ページ／4色	
発行日	2022年3月1日
翻訳協力	愛甲恵子、宇野和美、王玉、大作道子、片桐早織、神谷丹路、河野万里子、櫻井映子、杉本詠美、南平かおり、野坂悦子、横野菜々、横山和江、李麗、若松宣子、脇本美穂
編集協力	坂谷ひさ子、攪上久子、汐崎順子、土居安子

ウ)「おすすめ！日本の子どもの本2021」

海外で紹介したい日本の子どもの本の英文ブックガイド。2019年9月から2020年8月に刊行された本の中から、絵本・読みもの・ノンフィクションのカテゴリーで合計89冊を紹介。

AB判／24ページ／4色	
発行日	2021年6月30日
選書・執筆	坂口美佳子、さくまゆみこ、土居安子、野上暁、広松由希子
表紙画	たむらしげる
編集協力	梓澤設夫
特別協賛	日本児童教育振興財団、ポプラ社
協賛	岩崎書店、偕成社、佼成出版社、講談社、子どもの未来社、さ・え・ら書房、出版ワークス、小学館、世界文化社、のら書店、理論社

▽掲載図書（89冊・掲載順）

◎絵本	
『あめかっぱ』偕成社	『うどんできた！』福音館書店
『うりのつるくるくる』光村教育図書	『こどもたちはまっている』亜紀書房
『こんにちは！わたしのえ』ほるぷ出版	『たいこ』福音館書店
『チンチラカと大男』BL出版	『つかまえた』偕成社
『つるかめつるかめ』あすなろ書房	『テッコ・プー』偕成社

『のりまき』福音館書店	『ひみつだからね』偕成社
『ひょうたんとかえる』鈴木出版	『ふーってして』KADOKAWA
『まっている。』講談社	『みんなのおすし』ポプラ社
『やさいのおにたいじ』福音館書店	『やねうらべやのおばけ』偕成社
『おれ、よびだしになる』アリス館	『さくらの谷』偕成社
『ちび竜』童心社	『なんだろうなんだろう』光村図書出版
『の』福音館書店	『ランカ』偕成社
『あるひあるとき』のら書店	『おきなぐさ』三起商行
『かがみとチコリ』講談社	『ファイアー』理論社
『とうちゃんはむしちゃんよか』光村教育図書	
◎読みもの	
『やまねこのこんには』あかね書房	『レッツはおなか』講談社
『雨の日は、いっしょに』佼成出版社	『がっこうかっぱのおひっこし』童心社
『区立あたまのてっぺん小学校』金の星社	『しぶがきほしがきあまいかき』福音館書店
『しらゆきちりかちっちゃい』PHP研究所	『ハンカチともだち』アリス館
『ぼくと母さんのキャラバン』講談社	『ぼくとキキとアトリエ』文研出版
『天邪鬼な皇子と唐の黒猫』ポプラ社	『アリババの猫がきいている』ポプラ社
『科学でナゾとき！』偕成社	『きつねの橋』偕成社
『ギフト、ぼくの場合』小学館	『サンドイッチクラブ』岩波書店
『じりじりの移動図書館』講談社	『父さんと、母さんと、ぼく』福音館書店
『図書館からの冒険』偕成社	『となりのアブダラクン』講談社
『夏休みに、ぼくが図書館で見つけたもの』あかね書房	『ぼくのまつり縫い』偕成社
『もうひとつの曲がり角』講談社	『赤毛証明』くもん出版
『アドリブ』あすなろ書房	『イーブン』小学館
『朔と新』講談社	『スベらない同盟』講談社
『団地のコトリ』ポプラ社	『蝶の羽ばたき、その先へ』小峰書店
『ワタシゴト』汐文社	
◎ノンフィクション	
『うみのダンゴムシやまのダンゴムシ』岩崎書店	『ざりがにひみつ』ひさかたチャイルド
『巨大空港』福音館書店	『100』福音館書店
『ぼくのマツボックリ図鑑』岩崎書店	『ふゆとみずのまほうこおり』ポプラ社
『りんごだんだん』あすなろ書房	『いちご』小学館
『やっぱりしごとば』ブロンズ新社	『お蚕さんから糸と綿と』アリス館
『カイルのピアノ』岩崎書店	『恐竜学』学研プラス

『故郷の味は海をこえて』ポプラ社	『こども文様じてん』平凡社
『さがす』アリス館	『里山の自然 田んぼの1年』偕成社
『しまふくろうの森』あかね書房	『タコとイカはどうちがう?』ポプラ社
『南極のさかな大図鑑』福音館書店	『虫のしわざ図鑑』少年写真新聞社
『やとのいえ』偕成社	『琉球という国があった』福音館書店
『わたしたちのカメムシずかん』福音館書店	『オランウータンに会いたい』あかね書房
『完司さんの戦争』偕成社	『自分の力で肉を獲る』旬報社
『先生、ウンチとれました!』さ・え・ら書房	『百年後を生きる子どもたちさ・え・ら書房』農山漁村文化協会
『ダイエット幻想』筑摩書房	

## エ) 「おすすめ! 日本の子どもの本 2022」

2022年4月の発行に向け、準備を行った。

## オ) 「おすすめ! 世界の子どもの本 2021」

日本の子どもたちに読んでもらいたい翻訳児童書のブックガイド。2020年1月から12月に刊行された本の中から、絵本・読みもの・ノンフィクションのカテゴリーで合計66冊を紹介。翻訳家の千葉茂樹氏・脇明子氏のエッセイ、野上暁氏による故神宮輝夫氏の業績などを掲載。2021年6月に刊行した「おすすめ! 日本の子どもの本 2021」とともに全国の公共図書館に配布した。

AB判/24ページ/4色	
発行日	2022年1月10日
選書・執筆	さくまゆみこ、代田知子、神保和子、土居安子、福本友美子
表紙画	たむらしげる
編集協力	梓澤設夫
特別協賛	日本児童教育振興財団

## ▽掲載図書 (66冊・掲載順)

◎絵本	
『ありがとう、アーモ!』鈴木出版	『おもいではきえないよ』文研出版
『きつとどこかに』フレーベル館	『3人のママと3つのおべんとう』ブロンズ新社
『ジュリアンはマーメイド』サウザンブックス社	『ステラとカモメとプラスチック』岩崎書店
『トラといっしょに』徳間書店	『ぼくといっしょに』ブロンズ新社
『みずをくむプリンセス』さ・え・ら書房	『アルマの名前がながいわけ』ゴブリン書房
『せんそうがやってきた日』鈴木出版	『たかくとびたて女の子』汐文社
『ねえさんの青いヒジャブ』BL出版	『ママとうみのやくそく』主婦の友社
『ようこそ! ここはみんなのがっこうだよ』鈴木出版	『ロビンソン』偕成社
『しあわせなときの地図』ほるぷ出版	
◎読みもの	

『おひめさまになったワニ』福音館書店	『はりねずみともぐらのふうせんりょう』福音館書店
『ウサギとぼくのこまった毎日』徳間書店	『かじ屋と妖精たち』岩波書店
『クリスマスの小屋』福音館書店	『人形つかいマリオのお話』徳間書店
『アーニャは、きつと来る』評論社	『色どろぼうをさがして』ポプラ社
『おいで、アラスカ!』フレーベル館	『オオカミの旅』あかね書房
『おじいちゃんとの最後の旅』徳間書店	『彼方の光』偕成社
『かるいお姫さま』岩波書店	『キャラメル色のわたし』鈴木出版
『死に森』の白いオオカミ』徳間書店	『スーパー・ノヴァ』あすなろ書房
『父さんが帰らない町で』徳間書店	『囚われのアマル』さ・え・ら書房
『庭づくりはひみつ!』徳間書店	『橋の上の子どもたち』講談社
『秘密のノート』小学館	『雪山のエンジェル』評論社
『兄の名は、ジェシカ』あすなろ書房	『オール・アメリカン・ボーイズ』偕成社
『神さまの貨物』ポプラ社	『銀をつむぐ者』静山社
『グラフィック版アンネの日記』あすなろ書房	『コピーボーイ』岩波書店
『青銅とひまわり』樹立社	『チェリーシュリンプわたしはわたし』金の星社
『ベルリン三部作』岩波書店	『ぼくだけのぶちまけ日記』岩波書店
『ぼくたちがギンターを殺そうとした日』徳間書店	『夜フクロウとドッグフィッシュ』小学館
『ルーバートのいた夏』徳間書店	
◎ノンフィクション	
『ハロウィンのかぼちゃをかごろう』BL出版	『虫ガール』岩崎書店
『オーケストラをつくろう』BL出版	『ネコとなかよくなるうよ』光村教育図書
『プラスチック星にはなりたくない!』ひさかたチャイルド	『今、世界はあぶないのか?』評論社
『子どもの本の世界を変えたニューベリーの物語』西村書店	『はじまりは、まっしろな紙』フレーベル館
『100歳ランナーの物語』西村書店	『わたしに手紙を書いて』評論社
『あの湖のあの家におきたこと』クレヨンハウス	『子どもを守る言葉「同意」って何?』集英社
『ダーシェンカ』青土社	『ブライアン・ステイブンソン』あすなろ書房

## カ) Japanese Children's Books 2020と2021

海外で紹介したい日本の子どもの本の英文ブックガイド。IBBY世界大会や国際ブックフェアがコロナで中止になったため、印刷せずPDF版を提供していたが、2022年3月のポローニャブックフェアに合わせて印刷版を刊行。

### 3. 講座・研究会

#### ア) JBBY 世界の子どもの本講座 (オンライン全4回)

国際アンデルセン賞を中心に、世界の子どもの本をテーマにした講座を4回実施した。参加者のべ437人。

4/25 (日)	私が会った国際アンデルセン賞画家と世界の絵本作家	講師：松本猛
6/5 (土)	チェコの国際アンデルセン賞画家が開く絵本の世界	講師：木村有子
7/10 (土)	いま世界が注目する！ 韓国絵本の現在	講師：申明浩
11/20 (土)	ぼくの絵本づくり	講師：荒井良二

#### イ) JBBY 新・編集者講座第7期 (オンライン全3回)

若手児童書編集者にとっての学びの場、子どもの本の未来を創る次世代の交流の場を目指し、連続講座を3回実施した。今年度の全体テーマは「子どもの本の新しい地平線」。参加者のべ376人。

7/14 (水)	ヒットメーカーに聞く！ 私の本の作り方—まじめにふざげる児童書編	講師：金井弓子
10/28 (木)	いま、日本と中国を結ぶ新しいかたちのビジネスが進行中！	講師：唐亜明
12/6 (月)	海外の絵本と日本の絵本の違い～ポローニャ・イラストレーション展 審査会から見えてくること～	講師：松岡希代子

#### ウ) 第4回 JBBY 子どもの本の翻訳フォーラム (オンライン)

子どもたちには、日本人とは異なる視点で描かれた海外の本も必要だという考えから、翻訳児童書に関するフォーラムを毎年開催。今年は、翻訳家に加え海外在住の作家も招いて、子どもをめぐる社会や子ども観のガイなどを浮き彫りにした。参加者277人。「子どもゆめ基金」助成活動。

2022/1/22 (土)	子どもの本・日本と世界～視野の違いを探る	講師：宇野和美、こだまともこ、佐藤まどか、那須田淳 進行：さくまゆみこ
---------------	----------------------	--

#### エ) JBBY 希望プロジェクト学びの会 (オンライン全1回)

国内の困難を抱える子どもたちを支援するプロジェクト「JBBY 希望プロジェクト」の活動を、より有意義なものにするため、子どもたちが直面している困難の実情を学ぶ学習会を1回実施した。参加者63人。

12/11 (土)	本来の『学び』とは何か—デジタル化が進む学校現場から子どもたちの未来を考える	講師：久保敬
-----------	--	--------

#### オ) テーマ別勉強会「JBBY ノンフィクションの子ども本を考える会」(オンライン全2回)

会員主体で2回実施した。参加者のべ25人。

9/6 (月)	テーマ：最近の伝記絵本を考える
2022/1/13 (木)	テーマ：性教育に関する絵本を考える

### 4. 第7回 JBBY 賞 (隔年、期ずれ)

コロナで延期していた第7回 JBBY 賞贈賞式を、国際子どもの本の日の初日(3/5)にオンライン報告会のかたちで実施した。受賞

者からはメッセージを寄せていただいた。

▽第7回 JBBY 賞受賞者

作家の部門	富安陽子 (国際アンデルセン賞ノミネート)
画家の部門	田島征三 (国際アンデルセン賞ノミネート)
文学作品の部門	梨屋アリエ／ポプラ社 (『きみの存在を意識する』IBBY オナーリスト)
イラストレーション作品の部門	たむらしげる／偕成社 (『よるのおと』IBBY オナーリスト)
翻訳作品の部門	西村由美／岩波書店 (『青い月の石』IBBY オナーリスト)
バリアフリー図書部門	村中李衣／石川えりこ／童心社 (『こくん』IBBY バリアフリー図書)
絵本原画の部門	きくちちき／小峰書店 (『もみじのてがみ』BIB 金牌)

### 5. 会報の発行

会報「Book & Bread」を4回発行した。

147号 (2021/6月)	表紙：いまきみち／インタビュー：岩瀬成子／巻末エッセイ：村中李衣
148号 (2021/9月)	表紙：野坂勇作／インタビュー：館野鴻／巻末エッセイ：野上暁
149号 (2021/12月)	表紙：ひろかわさえこ／インタビュー：長野徹／巻末エッセイ：藤田隆広
150号 (2022/3月)	表紙：国際子どもの本の日ポスター (ジュリー・フレット)／インタビュー：荒井良二／巻末エッセイ：さくまゆみこ
仕様	B5版、36頁 印刷：図書印刷株式会社
広告協力	岩波書店、偕成社、共同印刷、くもん出版、講談社、至光社、出版文化産業振興財団、小学館、大日本印刷、東京印書館、図書印刷、凸版印刷、童心社、福音観書店
編集委員	赤石忍／野上暁 (編集長)、喜入今日子、田中明子、堤嘉代、藤田隆広、山森健太郎、吉田幸司
デザイン・レイアウト	計良元宏

### 6. ウェブサイトなどによる広報活動

子どもの本の日フェスティバルを機に、JBBY YouTube チャンネルを充実。(フォロワー数は5/26現在)

ホームページ	<a href="https://jbyy.org/">https://jbyy.org/</a>	
Facebook	@JBBYpi	フォロワー 2,515人
FB 会員専用オンラインサロン「Book & Bread Cafe」		参加会員 106人
Twitter	@JBBYpi	フォロワー 3,784人
Instagram	@jbyy_kodomonohon	フォロワー 1,490人



Peatix	https://jbyby.peatix.com	フォロワー 1,547人
YouTube チャンネル	https://youtube.com/c/JBBYkodomonohon	登録者数 206人

会員専用ページのパスワードならびに、会員オンラインサロンの合言葉が不明な場合は、JBBY 事務局まで。

## 7. 協力事業（他団体との連携・協力）

### ア) 子どもの読書推進会議

民間の読書関連団体が結成した「子どもの読書推進会議」構成団体として協力した。野上暁理事が、会議の副代表に就任した。

構成団体 (順不同)	読書推進運動協議会、全国学校図書館協議会、日本雑誌協会、日本書店商業組合連合会、出版文化産業振興財団 (JPIC)、日本児童出版美術家連盟 (童美連)、日本図書館協会、日本書籍出版協会、日本出版取次協会、日本児童図書出版協会、日本児童文芸家協会、日本児童文学者協会、JBBY
---------------	---

### イ) ブラチスラバ世界絵本原画展（国内巡回展）

各開催館ならびに読売新聞社美術館連絡協議会が主催する巡回展に協力した。(2020 年度からの継続事業)

2020/10/17～12/13	奈良県	奈良県立美術館
2021/1/5～2/28	千葉県	千葉市美術館
4/17～6/6	栃木県	足利市立美術館
7/10～8/29	埼玉県	うらわ美術館
9/11～11/7	神奈川県	茅ヶ崎市美術館

### ▽日本の展覧作家と作品

きくちちき『もみじのてがみ』* 金牌	荒井良二『山のヨーナ』
軽部武宏『ばけバケツ』	さかたきよこ『金の鳥』
ザ・キャビンカンパニー『ボンボとヤージュ』	シゲリカツヒコ『大名行列』
島野平『おなかのなかで』『うざらかあさんとたまご』	スズキコージ『コーベッコ』
田島征三『わたしの森に』	田島征彦『やんばるの少年』
田中清代『くろいの』	たむらしげる『よるのおと』
降矢なな『やもじろうとはりきち』	みやこしあきこ『ぼくのたび』
ミロコマチコ『まっくらやみのまっくら』	

### ウ) 山田養蜂場「ミツバチの絵本コンクール」

喜入今日子理事と藤田隆広理事が、第4回ミツバチの絵本コンクールに審査員として協力した。

### エ) 群馬県太田市美術館・図書館（群馬県）

事務局長が、運営委員として協力した。

### オ) 後援事業

全国	アンデルセンのメルヘン大賞	アンデルセン・バン生活文化研究所
全国	JPIC 読書アドバイザー養成講座	出版文化産業振興財団 (JPIC)

全国	日産 童話と絵本のグランプリ	大阪国際児童文学振興財団 / 日産自動車
全国	いたばし国際絵本翻訳大賞	板橋区ほか
全国	ミツバチの絵本コンクール	山田養蜂場
全国/世界	ミツバチの一枚画コンクール	山田養蜂場
全国	創作童話・絵本・出汁絵本コンテスト	幼年教育・子育て支援推進寄稿
静岡県	ユニバーサルデザイン絵本コンクール	静岡文化芸術大学
北海道	けんぶち絵本の里大賞・けんぶち絵本原画展	剣淵町絵本の館
長野県	鏡の国のアリス展（前期 / 後期）	軽井沢絵本の森美術館
長野県	ヨーロッパ絵本の旅展	軽井沢絵本の森美術館
長野県	フェアリーテイルの世界展	軽井沢絵本の森美術館
富山県	とやま元気ワールド絵本ランド WEB	富山新聞社
神奈川県	佐藤さとる展「コロボックル物語」とともに	神奈川近代文学館
東京都	ポローニャ・ブックフェア in いたばし	板橋区立中央図書館
東京都	没後1年田畑精一『おいしいのほうけん』展	ちひろ美術館め東京
東京都	生誕111年 赤羽末吉展	ちひろ美術館・東京
東京都	ビエゾグラフによる わたしの好きなちひろ展	ちひろ美術館・東京
東京都	幼い日に見た夢 いわさきちひろ展	ちひろ美術館・東京
長野県	ビエゾグラフによる わたしの好きなちひろ展	安曇野ちひろ美術館
イタリア	日本の絵本展	ポローニャ・サラボルサ図書館

## 【その他の事業】

### 1. イタリア・ポローニャ国際絵本原画展

イタリアのポローニャ・ブックフェアで開催される「イラストレーター展」の入選作品を紹介する国内巡回展「2021 イタリア・ポローニャ国際絵本原画展」を5会場で実施した。JBBYは巡回事務局を務めた。

7/17～8/15	東京都	板橋区立美術館
8/21～9/26	兵庫県	西宮市大谷記念美術館
10/2～31	静岡県	浜松市美術館
11/6～12/12	石川県	石川県七尾美術館
12/18～2022/1/23	群馬県	太田市美術館・図書館

### 2. JBBY 希望プロジェクト

IBBYのチルドレン・イン・クライシスの精神に則り、日本国内の困難な状況にある子どもたちに本を通じた支援活動を行った。「希望プロジェクト・学びの会」については、【調査研究・情報提供事業】の3-オに記載

ア) 野馬追文庫

2011年の東日本大震災の後、福島県南相馬市の仮設住宅に毎月本を送るプロジェクトからスタートし、現在は季節ごとに児童施設へ寄贈している。

6月	小高交流センター、聖愛こども園に、季節の本を寄贈
9月	小高交流センター、聖愛こども園、ちいろば園に、季節の本を寄贈
2022年3月	小高交流センター、聖愛こども園、ちいろば園、おだか認定こども園に、季節の本を寄贈

イ) 少年院ライブラリー（仮称）

少年院・鑑別所などの施設で活用できる児童書177冊を選定した。面だしに向けた本（6カテゴリー）と棚ざしに向けた本に分けて紹介。子ども向けと大人向けの2種の仕様でブックガイドを作成し、2022年度初めにウェブで紹介、予算次第で紙媒体も検討する。

選書・執筆	大塚敦子、さくまゆみこ、清水由紀乃、神保和子、土居安子、中島尚子、野坂悦子、藤原潤子、町田りん、村中李衣、山中かおり、和田直
-------	--

▽選定図書

【面だし 69タイトル】

<b>①</b> こんな見たことある？～ビジュアルがおもしろい本（11冊）	
『うるさく、しずかに、ひそひそ』河出書房新社	『オレときいろ』WAVE出版
『かようびのよる』徳間書店	『〈新世界〉透明標本Ⅱ』小学館
『スモールプラネット』リトルモア	『世界でいちばん美しい洞窟、魅惑の石窟』エムディエヌコーポレーション
『絶景×絶景』日経ナショナルジオグラフィック社	『空から見た美しき世界』日経ナショナルジオグラフィック社
『宙の月光浴』小学館	『干物のある風景』東方出版
『山口晃作品集』東京大学出版会	
<b>②</b> おいしいもの集まれ！～食べ物についての本（9冊）	
『おとなのねこまんま』泰文堂	『365日たまごてけごはんの本』読売連合広告社
『世界中からいただきます！』偕成社	『食べ物記』福音館書店
『地球の食卓』TOTO出版	『丼本』トランスワールドジャパン
『肉飯』トランスワールドジャパン	『麺本』トランスワールドジャパン
『ひるけ』木楽舎	
<b>③</b> 小さいものから大きいものまで～動物や自然についての本（17冊）	
『あおのじかん』岩波書店	『美しき小さな雑草の花図鑑』ヤマト溪谷社
『ウミウシ』二見書房	『海中記』福音館書店
『かまきりっこ』アリス館	『きのこ』ポプラ社

『じんべえざめ』文化学園文化出版局	『世界昆虫記』福音館書店
『象虫』（復刻版）講談社	『だらだら動物図鑑』エクスナレッジ
『飛び猫』KADOKAWA	『ハッフル望遠鏡が見た宇宙』日経ナショナルジオグラフィック社
『必死すぎるネコ』辰巳出版	『みんなのかお』福音館書店
『むしをたべるくさ』ポプラ社	『りんごだんだん』あすなろ書房
『わらうブランクトン』小学館	
<b>④</b> ウフツ、へへへツ、ハッハッハ～おもしろい本、わらえる本（11冊）	
『あかりをけて』BL出版	『うしとぞん』小学館
『可笑しな家』二見書房	『おどります』絵本館
『怪物園』福音館書店	『じいちゃんさま』リトルモア
『なぜずこのっぺ？』フレーベル館	『ピクトさんの本』ビー・エヌ・エヌ新社
『ぼちぼちいこか』偕成社	『ゆうたはともだち』あかね書房
『わにさんどきっ はいしゃさんどき』偕成社	
<b>⑤</b> 遠くを見よう、考えてみよう～平和と多様性のための本（12冊）	
『アライバル』河出書房新社	『絵で読む広島原爆』福音館書店
『くらべる東西』東京書籍	『さがしています』童心社
『さわるめいろ』小学館	『せかいいちうつくしいぼくの村』ポプラ社
『ちいさなへいたい』朝北社	『ドームがたり』玉川大学出版部
『1つぶのおこめ』光村教育図書	『ぼくがラーメンたべるとき』教育画劇
『ぼくのこえがきこえますか』童心社	『マルコとババ』偕成社
<b>⑥</b> こんな生き方、あんな仕事～仕事や人生についての本（9冊）	
『あさになったのでまどをあけますよ』偕成社	『家をせおって歩く』福音館書店
『建設中。』グラフィック社	『工場ディスカバリー』アスペクト
『しごとば』ブロンズ新社	『ツリーハウスをつくる』二見書房
『ぶたにく』幻冬舎エデュケーション	『星の使者～ガリレオ・ガリレイ』徳間書店
『夜のあいだに』ゴブリン書房	
<b>【棚ざし 108タイトル】</b>	
『あなたこそたからもの』大月書店	『牛が消えた村』で種をまく』農山漁村文化協会
『うちは精肉店』農山漁村文化協会	『絵物語 古事記』偕成社
『彼の手は語りつぐ』あすなろ書房	『希望の牧場』岩崎書店

『きまぐれロボット』 KADOKAWA	『金の鳥』BL出版
『熊とにんげん』徳間書店	『ことわざ絵本』岩崎書店
『サルってさいこう!』偕成社	『鳥獣戯画を読みとく』岩崎書店
『つちはんみょう』偕成社	『トイレのおかげ』福音館書店
『とべバッタ』偕成社	『トリックアート図鑑』あかね書房
『ネットのルール』旺文社	『のはらうた1』童話屋
『ひとりひとりのやさしさ』BL出版	『非武装地帯に春がくると』童心社
『ふしぎなともだち』くもん出版	『ほうさんちゅう』アリス館
『ホネホネたんけんたい』アリス館	『魔術師アブドゥル・ガサツィの庭園』あすなろ書房
『ミイラ学』今人舎	『みえるとかみえないとか』アリス館
『耳のきこえないメジャーリーガーウィリアム・ホイ』光村教育図書	『森のおくから』ゴブリン書房
『やくそく』BL出版	『明日をさがす旅』福音館書店
『生きる～劉連仁の物語』童心社	『いじめ～心の中がのぞけたら』朝日学生新聞社
『いま中学生とよみたい101の詩』民衆社	『エンデュアランス号大漂流』あすなろ書房
『オオカミ王ロボ』童心社	『お金さえあればいい?』クレヨンハウス
『おしごと年鑑2021』朝日新聞社	『かくれ家のアンネ・フランク』岩波書店
『ガリヴァー旅行記』(ヴィジュアル版)岩波書店	『キバラカと魔法の馬』岩波書店
『希望の図書館』ポプラ社	『ギリシア神話』のら書店
『紅のトキの空』評論社	『ケルトの白馬』ほるぶ出版
『源平の風』(白狐魔記1)偕成社	『コーヒー豆を追いかけて』くもん出版
『故郷の味は海をこえて』ポプラ社	『ゴジラ誕生物語』文研出版
『こんびら狗』くもん出版	『精霊の守り人』偕成社
『線所の秘密図書館』文溪堂	『先生、ウンチとれました』さ・え・ら書房
『なとりのアブダラくん』講談社	『ピース・ヴィレッジ』偕成社
『星の王子さま』新潮社	『ホビットの冒険』岩波書店
『都会のトム&ソーヤ1』講談社	『まんがクラスメイトは外国人』明石書店
『モモ』岩波書店	『漁師さんの森づくり』講談社
『わたしがいどんだ闘い1939年』評論社	『ワンダー』ほるぶ出版
『アルジャーノンに花束を 新版』早川書房	『あん』ポプラ社
『一瞬の風になれ1-3』講談社	『凍てつく海のむこうに』岩波書店

『命～手塚治虫からの伝言4』 童心社	『うちうとは小さいのちひろいあげ』講談社
『かがみの孤城』ポプラ社	『影との闘い』(ゲド戦記1)岩波書店
『カモメに飛ぶことを教えた猫』白水社	『ギヴ・ミー・ア・チャンス 犬と少年の再出発』講談社
『キジムナー kids』現代書館	『きみの存在を意識する』ポプラ社
『クラブアート』偕成社	『ケンタウロスのポロス』岩波書店
『国宝の解剖図鑑』エクスマレッジ	『ゴースト』小峰書店
『この川のむこうに君がいる』理論社	『16歳の語り部』ポプラ社
『人生で大事なことはみんなゴリラから教わった』家の光協会	『新編 銀河鉄道の夜』新潮社
『世界でいちばん素敵な雲の教室』三才ブックス	『世界の果てのこどもたち』講談社
『絶望を生きる哲学』講談社	『そして、ぼくは度に出た。』あすなろ書房
『ソングジュの見た星』徳間書店	『種をまく人』あすなろ書房
『旅をする木』文藝春秋	『鉄のしぶきがはねる』講談社
『友だち幻想』筑摩書房	『トンネルの森1945』KADOKAWA
『西の魔女が死んだ』新潮社	『裸足で逃げる』太田出版
『はみだしインディアンのホントのホントの物語』小学館	『ピーティ』鈴木出版
『ファニー』岩波書店	『フラダン』小峰書店
『フラミンゴボーイ』小学館	『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』新潮社
『本当の貧困の話をしよう』文藝春秋	『真夜中の電話』徳間書店
『むこう岸』講談社	『虫ざらいはなおるかな?』理論社
『めんそーれ! 化学』岩波書店	『悠久の時を旅する(新版)』クレヴィス
『レ・ミゼラブル(上・下)』福音館書店	『路上のストライカー』岩波書店

#### ウ) 募金活動

希望プロジェクトの支援活動に限定した寄付を募り、2021年度は「192,000円」を集めた。

##### ■募金口座

ゆうちょ銀行〇一八(ゼロイチハチ)支店

普通 2477506

口座名義: ニホンコクサイズドウトシヨウウギカイ

##### ■JBBY 希望プロジェクト

東日本大震災後、子どもの本に関わるいくつかの団体とともに立ち上げた「子どもたちへ〈あしたの本〉プロジェクト; 2011-2016」で培った経験や反省をいかし、日本国内のさまざまな困難を抱える子どもたちに目を向け、本の力で希望ある未来を届けようと、JBBYが2017年に発足。

### 3. フォーラム・子どもたちの未来のために

オンラインの学習会 / 講演会を6回実施した。また、オンラインのニューズレターを毎月発行した。

4/10 (土)	第3回学習会「コロナ禍での読書と子どもの本の可能性～公共図書館と子どもの本専門店の現場から聞く」	講師：奥山恵、代田知子
6/26 (土)	講演会「子どもたちが危ない！～日本の教育はどこにむかっているのか～」	講師：前川喜平
7/17 (土)	リレートーク「子どもたちの現在と未来に向けて～わたしたちができることは？」	講師：十々夜、那須田淳、降矢奈々、松本猛、令丈ヒロ子
7/31 (土)	リレートーク「子どもたちの現在と未来に向けて～コロナ禍の五輪開催中に思うこと」	講師：工藤純子、さくまゆみこ、佐藤まどか、濱野京子、ひろかわさえこ
11/14 (日)	リレートーク「子どもと本と民主主義～この危機的状況をどう考えるか？」	講師：宇野和美、長谷川義史、はたこうしろう、長江優子、安田夏菜
2022/3/26 (土)	みんなで話そう！ 改憲よりも「??？」	

■フォーラム・子どもたちの未来のために  
「特定秘密保護法」や一連の「安保法案」が子どもたちの未来を危うくするものと受け止め、子どもの本に携わる出版社、作家、画家、翻訳家、研究者など各方面の団体が危機感を共有して2013年に結成した連絡組織。会員への強制力はなく、勉強会を実施することで問題意識の拡大を図る。  
構成団体：絵本学会、絵本作家・画家の会、童話著作者の会、日本児童図書出版協会、日本児童文学者協会、日本ペンクラブ「子どもの本」委員会、IBBY。  
<https://www.f-kodomotachinomirai.com/>

### 4. 出展ほか

特になし (5月の上野の森親子ブックフェスタはコロナウィルスの影響により中止)

### 5. 国際交流基金共催「Lifelong Favorites」

国際交流基金が、「翻訳出版助成プログラム」を広報するために、おすすめの日本の児童書をサイトと冊子で紹介することになり、選書と解説執筆に協力した。(1)日本の子どもたちが誰でも知ってる昔話 (2)子どもたちに長く支持され、今でも多くの読者をもつロングセラー (3)2000年以降に出版され、今後ロングセラーになることが期待される図書の、の3部門で59冊を選んだ。

▶ <https://www.worthsharing.jp/f.go.jp/lifelong-favorites/>

選書・執筆	奥山恵、さくまゆみこ、汐崎順子、土居安子、野上暁、福本友美子
-------	--------------------------------

### 6. 物販

なし (コロナウィルスの影響により、リアルの講座を開催しなかったため)

## 【組織・その他】

### 1. 総会・理事会等の開催

今年度の理事会は、コロナウィルス蔓延の対策として、いずれもオンラインで実施。総会は、事前に書面議決書と委任状を集め、当日は会長・副会長・専務理事・監事のみで実施した。

4/27 (火)	第1回理事会	出席 15名 事業報告・決算報告について / 総会と JBBY 賞贈賞式について / 事業計画について
5/18 (火)	第2回理事会	出席 14名 事業報告・決算報告について / 総会と役員選任について / 労務について / PC 購入について / IBBY 世界大会について / BIB のカルネ手帖利用について / IBBY 日中韓プロジェクトについて
6/8 (火)	第3回理事会 メール会議	出席 15名 役員の選任について = 新役員候補の承認
6/25 (金)	第51回定時総会 (事前書面議決)	議決権 492 書面による承認 174 + 委任状 129 2020 年度事業報告 / 2020 年度決算報告 / 2021 年度事業計画と予算書 / 役員の選任
6/25 (金)	第4回理事会	出席 16名 代表理事の互選について = さくまゆみこ氏を代表理事 (会著) に選任
7/28 (水)	第5回理事会	出席 15名 組織と担当理事の選任について / 2022 年 IBBY オナーリスト選考委員について / 事業計画について / IBBY 世界大会について
9/1 (水)	第6回理事会	出席 17名 事業進捗について / 著作権・肖像権・公衆送信権の確認について / 国際交流基金との共催事業 (新規) について
11/16 (火)	第7回理事会	出席 14名 会計中間報告について / 事業進捗について
12/13 (月)	第8回理事会	出席 16名 事業進捗について / JBBY 賞・バリアフリー部門の選定について / 子どもの本の日フェスティバルについて / 2023 年バリアフリー図書の選定について / 2022 年度子どもゆめ基金の申請について
2/28 (月)	第9回理事会	出席 15名 事業進捗について / 会計報告について / 子どもの本の日フェスティバルについて / JBBY 賞報告会について / 国際アンデルセン賞ショートリストについて / パートタイマー・有期労働者就業規則について / イオンからの寄付について (新規)

## 2. 役員

会長	さくまゆみこ（翻訳家）
副会長	代田知子（三芳町立図書館運営相談員、日本子どもの本研究会会長）
副会長	野上暁（日本ペンクラブ常務理事、東京純心大学客員教授）
副会長	広松由希子（絵本の評論、文、翻訳、展示企画）
専務理事	土居安子（大阪国際児童文学振興財団総括専門員）
理事	おおつかのりこ（翻訳家）
理事	喜入今日子（小学館第二児童学習局プロデューサー兼児童創作室長）
理事	木村有子（翻訳家）
理事	佐藤まどか（作家）
理事	汐崎順子（研究者）

理事	神保和子（家庭文庫主宰）
理事	竹迫祐子（いわさきちひろ記念事業団理事）
理事	中野怜奈（翻訳家、ミュンヘン国際児童図書館日本担当）
理事	廣松英樹（福音館書店専務取締役）
理事	藤田隆広（偕成社編集部）
理事	吉田幸司（講談社第六事業局新事業チーム担当部長兼国際ライツ事業部担当部長）
理事	吉野万理子（作家）
監事	赤石忍（日本児童図書出版協会事務局長）
監事	阿部薫（元講談社編集者）
監事	柏原順太（元小学館編集者）

## 3. 委員会図

理事会 会長 さくま 副会長 代田 野上 広松 専務理事 土居  事務局 事務局長 鳥塚 齊藤	企画事業委員会 委員長 野上	国際子どもの本の日（広松）／世界の子どもの本展（吉田）／バリアフリー児童図書展（竹迫）／ポーロニャ国際絵本原画展（広松）／新・編集者講座（喜入）／世界の子どもの本講座（汐崎）／翻訳フォーラム（おおつか）／小規模勉強会（おおつか）／フォーラム・子どもたちの未来のために（野上）／上野の森ブックフェスタ（木村）
	国際委員会 委員長 広松	IBBY 世界大会／国際賞（国際アンデルセン賞・IBBY オナーリスト・IBBY バリアフリー図書・BIB ほか）日中韓プロジェクト（藤田）／情報発信（佐藤）
	渉外・支援委員会 委員長 代田	希望プロジェクト
	広報委員会 委員長 吉田	ホームページ／オンラインサロン（吉野）／Facebook（佐藤）／Twitter（吉野）YouTube／Instagram
	編集出版委員会 委員長 土居	会報 Book & Bread（野上）／ブックリスト（「おすすめ！日本の子どもの本」「おすすめ！世界の子どもの本」）／IBBY ブックリストの日本語版（汐崎・木村）
	財務委員会 委員長 廣松	

## 4. プロジェクトに関わってくださった会員（スタッフ、講師、五十音順）

IBBY/ 推薦	IBBY 世界大会	佐々木雅子 佐藤まどか 中野怜奈 野坂悦子 松井紀美子
	国際子どもの本の日	愛甲恵子 石川えりこ 上地史人 宇野和美 王玉 大作道子 おおたけきよみ おおつかのりこ 攪上久子 柏原順太 片桐早織 喜入今日子 きのとりこ 木村有子 河野万里子 こだまともこ 相良倫子 さくまゆみこ 汐崎順子 代田知子 神保和子 竹迫祐子 武富博子 館野鴻 田中清代 垂石真子 土居安子 とよたかずひこ 中井はるの 長江優子 中島尚子 中野怜奈 長友恵子 長野ヒデ子 南平かおり 二階堂恵里 野上暁 野坂悦子 濱野京子 原田勝 広松由希子 福本友美子 藤田隆広 降矢なな 堀川理万子 松本育子 村中李衣 八木恭子 よこのなな 横山和江 吉田幸司 吉野万理子 李麗 若松宣子
	日中韓プロジェクト	さくまゆみこ 竹迫祐子 藤田隆広
	推薦：国際アンデルセン賞	位頭久美子 さくまゆみこ 代田知子 土居安子 中野怜奈 野上暁 広松由希子 松岡希代子 松方路子
	推薦：IBBY オナーリスト	坂口美佳子 さくまゆみこ 汐崎順子 代田知子 神保和子 土居安子 野上暁 広松由希子 福本友美子
	推薦：バリアフリー児童図書	攪上久子 さくまゆみこ 梨屋アリエ 林左和子 村中李衣 山田真
推薦：プラチスラバ世界絵本原画展	野上暁 広松由希子 松方路子 松本育子	

展覧会	世界の子どもの本展	竹迫祐子 土居安子 野上暁 野坂悦子 吉田幸司
	バリアフリー児童図書展	攪上久子 竹迫祐子
	ポーロニャ国際絵本原画展	広松由希子 松岡希代子 森泉文美
出版	おすすめ！日本の子どもの本(日/英)	梓澤設夫 奥山恵 坂口美佳子 さくまゆみこ 汐崎順子 土居安子 野上暁 広松由希子 福本友美子
	おすすめ！世界の子どもの本	梓澤設夫 さくまゆみこ 代田知子 神保和子 土居安子 福本友美子
	オナーリストカタログ日本語版	愛甲恵子 宇野和美 王玉 大作道子 おおつかのりこ 片桐早織 神谷丹路 川辺剛彦 木村有子 河野万里子 相良倫子 さくまゆみこ 櫻井映子 武富博子 富澤規子 南平かおり 野坂悦子 横野菜々 若松宣子 脇本美穂 李麗
	バリアフリーカタログ日本語版	愛甲恵子 板谷ひさ子 宇野和美 王玉 大作道子 攪上久子 片桐早織 神谷丹路 河野万里子 櫻井映子 汐崎順子 杉本詠美 土居安子 南平かおり 野坂悦子 横野菜々 横山和江 李麗 若松宣子 脇本美穂
	会報	赤石忍 喜入今日子 田中明子 堤嘉代 広松由希子 藤田隆広 山森健太郎 吉田幸司 愛甲恵子 いまきみち 岩瀬成子 上野陽子 川西美沙 さくまゆみこ 櫻井映子 末盛千枝子 館野鴻 野上暁 野坂勇作 ひろかわさえこ 福本友美子 村田はるせ 村中李衣 森泉文美
講座	新・編集者講座	小方桂子 金井弓子 喜入今日子 藤田隆広 松岡希代子 吉田幸司
	国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座	木村有子 汐崎順子 代田知子 申明浩 神保和子 中野怜奈 野上暁 広松由希子 前沢明枝 松本猛
	翻訳フォーラム	大作道子 おおつかのりこ 相良倫子 さくまゆみこ 長友恵子 宇野和美 こだまともこ 佐藤まどか 那須田淳
	ノンフィクションの子どもの本を考える会	おおつかのりこ 小原解子 さくまゆみこ 中島尚子 長友恵子 二階堂恵理 藤田隆広
JBBY賞	JBBY賞	石川えりこ さくまゆみこ 田島征三 梨屋アリエ 広松由希子 村中李衣
広報	ホームページ	吉田幸司
	Facebook	佐藤まどか 中野怜奈 吉田幸司
	Facebook 会員サロン	汐崎順子 吉野万理子
	Twitter	吉野万理子
	Instagram	梅野愛子 昆野良美
	YouTube チャンネル	愛甲恵子 宇野和美 王玉 大作道子 大竹聖美 おおつかのりこ 片桐早織 木村有子 河野万里子 こだまともこ 相良倫子 さくまゆみこ 武富博子 中井はるの 長友恵子 中野怜奈 南平かおり 野坂悦子 原田勝 福本友美子 八木恭子 横山和江 李麗 若松宣子
希望プロジェクト	学びの会・支援活動	大塚敦子 柿田友宏 攪上久子 久保敬 さくまゆみこ 代田知子 土居安子 中島尚子 野坂悦子 濱野京子 町田りん 村中李衣 和田直
	野馬追文庫	攪上久子 野口光世 柳沼志津子
	少年院ライブラリー	大塚敦子 さくまゆみこ 清水由紀乃 神保和子 土居安子 中島尚子 野坂悦子 藤原潤子 町田りん 村中李衣 山中かおり 和田直
その他	フォーラム子どもたちの未来のために	赤石忍 宇野和美 奥山恵 さくまゆみこ 佐藤まどか 澤田精一 代田知子 長江優子 那須田淳 野上暁 濱野京子 ひろかわさえこ 降矢なな 松本猛
	上野の森ブックフェスタ	宇野和美 木村有子
	国際交流基金共催事業	奥山恵 川辺剛彦 さくまゆみこ 汐崎順子 土居安子 野上暁 福本友美子
	協力：BIB 世界絵本原画展国内巡回展	板谷ひさ子 広松由希子
	協力：山田養蜂場ミツバチの絵本コンクール	喜入今日子 藤田隆広
	協力：子どもの読書推進会議	さくまゆみこ 野上暁 鳥塚尚子
	協力：太田市美術館・図書館	鳥塚尚子
協力：ユニセフ	さくまゆみこ	